

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	美しい水環境を取り戻す水質浄化の推進																	
計画の期間	平成22年度	～	平成26年度	交付対象	掛川市													
計画の目標	水環境の改善推進により公有水面の浄化を図り、地球環境を守り豊かな自然と人が未来に向かって共生するまちづくりを進める。																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が適切に下水を処理することにより、清潔な自然生態系が保全され美しい水環境が取り戻されるよう、下水道処理人口普及率を30.0% (H26) にする。 効率性及び地域特性を考慮しながら計画的に下水道整備を進め、整備率を42.0% (H26) にする。 掛川浄化センターにおける長寿命化計画の策定率を100% (H24) にする。 																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考											
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)												
① 公共下水道の供用開始を公示した区域内の行政人口に占める割合。 下水道処理人口普及率 (%) = 処理人口 (人) / 行政人口 (人)				25.3%	28.0%	30.0%	目標人口 34,650人 目標面積 1,160ha											
② 全体計画面積のうち、下水道整備が完了した区域の割合。 整備率 (%) = 整備済み面積 (ha) / 全体計画面積 (ha)				34.9%	38.0%	42.0%												
③ 長寿命化計画を策定した施設の割合。 策定率 (%) = 長寿命化計画策定済みの施設数 / 長寿命化計画を策定すべき施設数				0.0%	100.0%	100.0%												
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,047 百万円	A	6,147 百万円	B	0 百万円	C	900 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13%								
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制				事後評価の実施時期														
・掛川市環境経済部下水整備課内で実施				平成28年3月														
				公表の方法														
				市のホームページに掲載														
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
A-1	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			掛川処理区管渠整備 (未普及解消)	污水管φ200~250 L=24,000m	掛川市	H22	H23	H24	H25	H26	2,650	△	
A-2	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			大東処理区管渠整備 (未普及解消)	污水管φ200 L=13,000m	掛川市						1,285	△	
A-3	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			大須賀処理区管渠整備 (未普及解消)	污水管φ200 L=6,300m	掛川市						757	△	
A-4	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			掛川浄化センター増設 (水質保全)	2/8→3/8池 (14,700m ² /日)	掛川市						1,412	○	
A-5	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			掛川浄化センター長寿命化計画策定	長寿命化計画策定検討	掛川市						3	○	
A-7	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市			効率的な事業実施のための基本的な下水道計画の見直し	調査・検討、計画策定	掛川市						40	○	
合計																6,147		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-1	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市		掛川処理区管渠整備（末端管渠布設）	汚水管φ200 L=8,400m	掛川市						630	△	
C-2	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市		大東処理区管渠整備（末端管渠布設）	汚水管φ200 L=2,800m	掛川市						180	△	
C-3	下水道	一般	掛川市	直接	掛川市		大須賀処理区管渠整備（末端管渠布設）	汚水管φ200 L=1,200m	掛川市						90	△	
										合計					900		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	基幹事業である幹線及び枝線に接続される末端管渠の整備を基幹事業と併せて実施することにより、効率的に整備促進が図られる。	
C-2	基幹事業である幹線及び枝線に接続される末端管渠の整備を基幹事業と併せて実施することにより、効率的に整備促進が図られる。	
C-3	基幹事業である幹線及び枝線に接続される末端管渠の整備を基幹事業と併せて実施することにより、効率的に整備促進が図られる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

（参考）計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

（別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する		・下水道の普及に伴い、市の中心部を流れる（二）逆川の水質が改善され、鮎の天然遡上が復活した。			
II 定量的指標の達成状況	指標① （下水道処理 人口普及率）	最終目標値	30.0%	目標値と実績 値に差が出た 要因	・中心市街地の整備により、目標人口に達することができた。 ・掛川処理区：幹線道路及び河川への埋設工法検討に期間を要したため ・大東処理区：旧河川敷（一級河川下小笠川跡地）への埋設工法検討に期間を要したため ・大須賀処理区：国指定の史跡箇所への埋設工法検討に期間を要したため ・掛川浄化センター電気設備及び機械設備の長寿命化計画策定検討が完了した。
		最終実績値	30.7%		
	指標② （下水道整備 率）	最終目標値	42.0%		
		最終実績値	39.6%		
	指標③ （長寿命化計 画策定率）	最終目標値	100.0%		
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・下水道、遊歩道整備の効果により、逆川周遊道路は多くの市民が利用する交流・歩行空間として定着し、健康増進にも寄与している。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・掛川処理区：北門地区及び天王町の20haを認可拡大し、鋭意事業を推進する。
- ・大東処理区：早期の全体計画区域完了を目指し、事業を推進する。
- ・大須賀処理区：野中地区20haを認可拡大し、鋭意事業を推進する。

(様式6) 社会資本総合整備計画(参考図面)

計画の名称	美しい水環境を取り戻す水質浄化の推進		
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)	交付対象	掛川市

